

令和元年度熱海・伊東地域大規模氾濫減災協議会議事概要

1 令和元年6月3日（月）15：00～

2 会場：熱海総合庁舎2階会議室

3 出席者・議事：別紙のとおり

4 議事についての主な発言

(1) 取組の進捗状況

- ・各機関の取組の進捗について確認し、協議会の承認を得た。
- ・情報伝達訓練等を通じてのホットライン体制の確認
- ・伊東大川における洪水浸水想定区域（想定最大規模）の公表
- ・危機管理型水位計の設置（熱海市6河川、伊東市4河川）
- ・「川の水位情報」HPによる住民へ向けての情報提供

(2) 各機関の取組事例

- ・各機関から昨年度の取組状況及び今年度の取組予定を発表し、その内容を確認した。

(3) 情報提供

＜中部地方整備局 避難勧告等に関するガイドラインの改定＞

- ・今までの防災情報は多様かつ難解であることから、住民等が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供していく。
- ・【警戒レベル3】高齢者避難、【警戒レベル4】全員避難として避難のタイミングを明確化。【警戒レベル5】災害発生情報として、命を守る最善の行動を促す。

＜静岡県土木防災課 ふじのくに災害復旧支援隊＞

- ・大規模な災害が発生した場合、静岡県が県内市町の技術的に人的支援する制度
- ・静岡県では、全国各地へ復旧・復興を支援している。（平成31年度12名の派遣）

－ 以 上 －